

社会資本総合整備計画

平成29年9月22日

計画の名称	1 鈴鹿市における安全、安心、快適な暮らしの実現（防災・安全）				重点計画の該当	-
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）		交付対象	鈴鹿市		
計画の目標						

下水道整備をすることにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な生活環境を創造する。

計画の成果目標（定量的指標）

- ①下水道整備により都市浸水対策達成率を30.0%（H26）から32.1%（H30）に向上させ、浸水被害を軽減する。
- ②長寿命化計画に基づきポンプ場、雨水貯留池及び雨水調整池の長寿命化対策率を0%（H26）から4.8%（H30）に向上させ、健全度を適正な水準で維持する。
- ③ポンプ場の地震対策実施率を0%（H26）から7.9%（H30）に向上させ、地震時の排水機能を維持する。

定量的指標の定義及び算定式

①下水道による都市浸水対策達成率 = 浸水対策完了済み面積（ha）/浸水対策全体計画面積（ha）

②ポンプ場、貯留池及び調整池の長寿命化対策率（%） = 長寿命化対策実施資産数（資産）/全対象資産数（資産）

③ポンプ場の地震対策実施率（%） = 耐震補強実施箇所数（箇所）/耐震補強が必要な箇所数（箇所）

定量的指標の現況値及び目標値			備考
当初現況値 (H26当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)	
30.0%	-	32.1%	
0.0%	-	4.8%	
0.0%	-	7.9%	

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	5,553 百万円	A	5,493 百万円	B	0 百万円	C	60 百万円	D	0 百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	1.1%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	-------	---	--------	---	-------	-----------------------------	------

交付対象事業

A1 下水道事業										事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	H26	H27	H28	H29				
1-A1-1	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	小山排水区（雨水幹線）（浸水対策）	U1.6-2.8m×1.1m L=332m	鈴鹿市						123	—	
1-A1-3	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	磯山排水区（雨水管渠）（浸水対策）	□0.4m×0.7m L=274m	鈴鹿市						12	—	
1-A1-4	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	江島排水区（雨水管渠）（浸水対策）	φ1.0m-φ1.5m L=628m	鈴鹿市						575	—	
1-A1-5	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	渚雨水ポンプ場建設工事（浸水対策）	能力Q=4.03m³/s	鈴鹿市						2,170	—	
1-A1-6	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	平野中央排水区（雨水幹線）（浸水対策）	U1.7m×1.7m L=233m	鈴鹿市						61	—	
1-A1-7	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	平田北部第1排水区（雨水幹線）（浸水対策）	□2.0m×1.5m , □1.5m×1.0m L=158m	鈴鹿市						100	—	
1-A1-8	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	下箕田北部排水区（雨水幹線）（浸水対策）	U2.3m×1.1m, □2.3m×1.3m L=241m	鈴鹿市						55	—	
1-A1-9	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	道伯南部排水区（雨水幹線）（浸水対策）	L3.6m×1.6m L=55m	鈴鹿市						100	—	
1-A1-10	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	野辺排水区（雨水幹線）（浸水対策）	□1.0~1.6m×0.7~1.7m L=504m	鈴鹿市						306	—	
1-A1-12	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	金沢排水区（雨水幹線）（浸水対策）	U13.0-9.5m×3.5m, U11.1-7.6m×3.5m L=130m	鈴鹿市						698	—	
1-A1-13	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	金沢排水区（雨水幹線2）（浸水対策）	□2.2m×1.3m, 1.5m×1.3m L=218m	鈴鹿市						137	—	
1-A1-14	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	長太中央排水区（雨水管渠）（浸水対策）	U1.6-1.8m×1.0-1.2m, □1.8m×1.8m L=138m	鈴鹿市						40	—	
1-A1-16	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	安塚南部第2排水区（雨水幹線）（浸水対策）	□0.8m-0.8m, □1.5m-1.4m L=366m	鈴鹿市						121	—	
1-A1-17	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	玉垣北部第1排水区（雨水幹線）（浸水対策）	□1.3m×0.9m □2.0m×1.0m L=365m	鈴鹿市						73	—	
1-A1-18	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	池田第1排水区（雨水幹線）（浸水対策）	U0.45m×0.45m, U1.0m×0.8m L=274m	鈴鹿市						69	—	
1-A1-19	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	ポンプ場・調整池	改築	江島雨水ポンプ場外2施設（長寿命化対策）	建築電気・電気設備一式	鈴鹿市						360	策定済	
1-A1-20	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	寺家南部第1排水区（雨水幹線）（浸水対策）	U11.0m×1.2m L=100m	鈴鹿市						60	—	
1-A1-21	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	田古知川排水区（雨水幹線）（浸水対策）	23.8m×2.4m×1.1m, 18.0-16.0m×2.0-0.9m×1.2-0.8m L=102m	鈴鹿市						85	—	
1-A1-22	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	ポンプ場	改築	江島雨水ポンプ場（総合地震対策）	ポンプ室建屋	鈴鹿市						44	策定済	
1-A1-23	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	白子中央排水区外（浸水対策）	事業計画検討	鈴鹿市						133	—	
1-A1-25	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	二ノ宮中央排水区（雨水管渠）（浸水対策）	U2.2m×0.6m L=64m	鈴鹿市						29	—	
1-A1-26	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	玉垣東部第1排水区（雨水幹線）（浸水対策）	U2.0m×0.6m L=450m	鈴鹿市						27	—	
1-A1-27	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	若松中央排水区（雨水管渠）（浸水対策）	U0.3m×0.6-1.0m L=100m	鈴鹿市						16	—	
1-A1-28	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	下水道ストックマネジメント計画	計画策定	鈴鹿市						64	—	
1-A1-29	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	金沢排水区（雨水幹線3）（浸水対策）	U400~500×500~600 L=410m	鈴鹿市						20	—	
1-A1-30	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	雨水	新設	十宮須賀排水区（浸水対策）	実施設計	鈴鹿市						15	—	
合計																5,493		

社会資本総合整備計画

平成29年9月22日

計画の名称	1 鈴鹿市における安全、安心、快適な暮らしの実現（防災・安全）										重点計画の該当	-				
計画の期間	平成26年度 ～ 平成30年度（5年間）					交付対象	鈴鹿市									
計画の目標	下水道整備をすることにより、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な生活環境を創造する。															
B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30			
									合計					0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
										H26	H27	H28	H29	H30		
1-C-1	下水道	一般	鈴鹿市	直接	鈴鹿市	新設	内水ハザードマップ作成（浸水対策）	A=4525ha	鈴鹿市						60	
									合計					60		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				
1-C-1	基幹事業（1-A1-1～1-A1-27）である幹線整備と一体的に整備することにより、内水による災害から、ソフト面で住民の安全安心を確保する。															
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
									H26	H27	H28	H29	H30			
									合計					0		
番号	一体的に実施することにより期待される効果											備考				

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
鈴鹿市土木部河川雨水対策課が評価を実施した。	令和5年11月
	公表の方法
	鈴鹿市ホームページ
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・浸水対策工事を行うことにより，都市浸水達成率を改善した。 ・長寿命化計画を進めることにより下水道施設の機能，維持，健全性を確保した。 ・総合地震対策計画を進めることにより，雨水ポンプ場の耐震化を進めることができた。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
○特記事項（今後の方針等）	
今後も雨水整備工事及び浸水対策を進めるとともに，雨水施設の改築更新及び地震対策を推進していく。	

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値/実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	下水道による都市浸水対策達成率（%）	
	最終目標値	32.1%
	最終実績値	31.4%
事業着手に時間を要したため目標値(-0.7%)を下回った		
2	ポンプ場、貯留池及び調整池の長寿命化対策率（%）	
	最終目標値	4.8%
	最終実績値	5.1%
効果的な事業発注により目標を達成することができた。		
3	ポンプ場の地震対策実施率（%）	
	最終目標値	7.9%
	最終実績値	7.9%
効果的な事業発注により目標を達成することができた。		
4		
	最終目標値	
	最終実績値	
5		
	最終目標値	
	最終実績値	

